

02 周華健深呼吸慈善演唱會

2002年1月20日(日)

台湾大学総合體育館



テキスト・写真 (c)2002 A. 栗田



02 周華健深呼吸慈善演唱會は当地の小児病院設立基金に寄付する目的で開催され、ポビー・チェンやビクター・ウォンを含む特別出演者が、周華健と共にとてもライブリーな演奏をしてくれました。

午後のリハーサルは、イージーバンドとハードバンドから顔なじみのメンバーが数人参加し、また、たくさんの

カメラマンが忙しくコンサートの撮影準備をしていました。その前の週に、華健はちょうどインフルエンザから回復しかけているところだと聞いていたので、ファンは少し心配していました。しかし、リハーサルで彼の調子は良さそうで、とても力強く、澄んだ正確な声でエルトン・ジョンの「Your Song」などを歌ってくれました。



コンサートの夜、私たちは Stars Ferry's Friends (擺渡人之友) ファンクラブの好意により前から二列目の席を得ることができました。本当に最高でした！

全員が色とりどりのライトスティックを持ち込み、華健の歌に合わせてにこやかに歌いながら「周華健！」と書いたサインを頭の上で一生懸命振っていました。歌はとても素敵で、聴衆はいつまでも続けて欲しいと願い、華健は30曲以上：「忘憂草」

から3～4曲、「最近比較煩」などのクラシックな数曲、そしてサンディ・ラムなどの有名な歌手の曲も交えて歌ってくれました。でも……

サインやライトスティックを激しく振り回す熱狂的な華健ファンに囲まれていたら、目を守る安全ゴーグルとヘルメットの着用を義務づける法律が要るかなあ～と思いました！



翌日、たくさん報道されたメディアの写真ではコンサートオープニング時のグリーンのTシャツと黒白格子縞のパンツを着た華健を見ることができました。それも面白い服

でしたが、3時間のコンサートの最後の一時間に着ていたジーンズと茶皮のジャケットの華健はもっとファシヨナブルに見えました。

華健は、コンサートの間ずっと、そして数回のアンコール時も、かなりの時間をステージの私たちの近くで、時には私たちからほんの数メートル位置にあるスピーカーに座って歌ってくれました。すてきな華健版ドン・マックリーンの「Vincent」など、一晩中、本当に素晴らしい出来栄でした。実のところ、華健はルイ・アームストロングの「What a Wonderful World」を英語で歌いながらコンサートを始めました。こういうシーンはいつまでも懐しく思い起こすことができます！



2001年から現在までの華健コンサート写真はこちらへ：

<http://www.wakin-web.com/Wakin/Gallery/Yokohama/yokohama.html>